

お寄せいただいた意見の概要とそれに対する市の機関の考え方

(1) 全体について

意 見 の 概 要	市 の 機 関 の 考 え 方
全体を通して。 総合戦略を拝見して、人口減少問題の克服や地方創生に向け、4つの基本目標の設定とその施策について、課題に対応した適切なものだと思います。 今後も、春日部市に、住みたい、住み続けたいと思えるような施策実施を行ってもらいたいと思います。限られた財源の中、総合振興計画との整合性も図りながら、それぞれの施策の優先順位をどのように考え、実行していくのか、難しいところだとは思いますが、着実な推進を期待します。 また、今後の人口減少社会を考えると、都市間競争も必要とは思いますが、様々な形での近隣市町との広域的な連携という視点も大切なことと思います。市民の生活圏域を考えると、春日部市だけでなく、埼玉県の東部地域全体の魅力向上に繋げていけるようなまちづくりを期待しています。	本戦略（案）の推進にあたっては、社会経済情勢を見極めながら、第2次春日部市総合振興計画と一体的に運用し、人口の将来展望の実現につなげてまいります。 また、「戦略推進の視点の対応」に記載のとおり、多くのステークホルダーとの連携を図ることとしており、積極的に市町村間連携も図ってまいります。
専門的な用語に対する解説があるとよりわかりやすいと思います。	一部の用語に注釈を付けていましたが、改めて見直しを行い、専門的な用語には解説を記載します。

(2) 春日部市の現状と課題について

意見の概要	市の機関の考え方
10 ページ【春日部市の現状と課題】中、「人口ビジョンの策定（平成28年3月）から4年強が経過した令和2年7月の段階でも、目標とする（ケース4）の総人口は達成できており、この傾向を維持する必要があります。」と、記載がありますが、 1. 人口ビジョンとは何か、（ケース4）とは何かが分かりません。 2. 具体的な数値と達成状況をご教示願います。 3. また、その状況を記載してはいかがでしょうか。 4. それにより、14 ページ【基本目標と施策】1. 第1期総合戦略の達成と第2期総合戦略の方向性中、「その結果、春日部市人口ビジョンに掲げる「本市が目指すべき人口の将来展望」における人口を達成することができました。」の裏付けにもなると考えます。	春日部市人口ビジョンは、本市における少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある地域を維持していくために、今後目指すべき将来方向と人口の将来展望を示したもので、「春日部市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基礎として位置づけられるものです。 春日部市人口ビジョンでは、いくつかのケースを推計しており、「若い人の希望をかなえる出生率と婚姻率」と「人の流れをつくる産業振興とまちづくり」がともに実現した場合をケース4とし、本市が目指す人口の将来展望としています。 推計にあたっては、各年10月1日時点の住民基本台帳を基準としており、2020年の推計値233,147人に対し、2020年10月時点で233,558人となったものでございます。 なお、いただいたご意見を踏まえ、人口ビジョンに用語解説を付けるとともに、達成状況を具体的に記載します。

春日部市の現状と課題を整理していますが、もう少し春日部市の強みと弱みを掘り下げる必要があると感じました。例えば、 ・東京都市圏へのアクセス性は悪くはないですが、越谷市などには劣り、プラスαが必要と思います。老人介護など、都心への就業や首都圏の従業地だけでない視点も重要と考えます。 ・アーバンパークラインや国道 16 号といった横のつながりがあることは強みと考えます。さいたま市や野田市等と Win-Win になる方向性（スポーツやレジャーなど）も考えられるのではと思います。 ・内牧の果樹園は、首都圏でブランド化できるポテンシャルを持っていると思います。梨や葡萄などをもっとアピールし、観光や就業機会の向上に活用できると感じます。	【春日部市の現状と課題】では、本市の現状としての強みと弱みや国の基本目標などを踏まえ、課題を整理しています。 4 つの基本目標では、課題を踏まえた上で施策を展開し、取組を実施するものであり、結果として、それらが総合的な効果をもたらし、人口の将来展望の実現につながるものと考えております。
---	---

（３）基本目標と施策について

意 見 の 概 要	市の機関の考え方
新型コロナウイルス感染症に対する課題提起はなされていますが、その具体的な対策が見えてきません。難しいこととは重々承知していますが、ひと・しごととして避けて通れないと思いますので、もう少し具体策が欲しいと感じました。例えば、 ・地元商店施設の支援施策（期間限定の補助など） ・ポストコロナを見越したイベント等の事前企画 等	「戦略推進の視点の対応」において、新型コロナウイルス感染症対応として、新しい生活様式への対応、リモート対応や行政手続きのオンライン化をはじめとしたデジタル技術の活用などについて記述しています。 具体的な取組を検討するにあたっては、いただいたご意見も参考にさせていただきます。

・ 特長を生かしたしごとを創出する地域創生戦略 春日部市独自の産業を育てるのも重要ですが、結果が出るまで時間がかかるでしょうから、春日部を魅力的な町にしてソーシャルワークに適した町にして人を集めることも考えるべきでは？春日部からなら東京に行く場合もさほど遠くないですし。	新たな時代のニーズを見極めつつ、産業の振興と雇用拡大を図り、職と住が近接したまちの実現を目指してまいります。
これからの高齢社会や都市近郊の立地条件、春日部市内牧等のポテンシャル等を勘案すると、春日部市において農業振興は非常に重要と考えます。例えば、 ・ 農業を主体とした道の駅（アグリパークゆめすぎとと若干かぶりますが…） ・ 大規模市民農園（つくる喜び、販売も…） ・ 行政が支援しての観光農園（内牧）	ご意見のとおり、農業には多くのポテンシャルがあるとの認識から、本戦略（案）において、新たに「市内農業の振興」を施策として位置づけています。農業環境整備や農産物の消費拡大に向けた取組はもちろんのこと、6次産業化や観光、福祉などとの連携を進めることにより、しごとの創出にもつなげてまいります。
・ 地域力を高める地域創生戦略 東武線で分断されている春日部駅を高架化で開かずの踏切をなくし、東口と西口を一体化するのに効果的です。本来は春日部市の問題ではないけれど、野田線を全て複線にして千葉方面へのアクセスを便利にしてほしい。移動のために路線バスを充実させてほしい。	東武野田線の春日部駅から千葉県方面の複線化につきましては、沿線自治体で構成する協議会を通じて、東武鉄道株式会社や千葉県等に対し、要望活動を行っております。 路線バスの充実につきましては、今後も公共交通事業者との連携を図るとともに、各交通事業者の運行形態を勘案しながら、それぞれの役割が最大限発揮されるよう努めてまいります。

連続立体交差事業はまちづくりにインパクトのある事業ですが、10 年以上に亘る長期的な事業と思います。将来的な施策と位置付けつつ、短中期的なコンパクト化に向けた施策も重要と思います。例えば、 ・ふれあいキューブの活用方策 ・大規模商業施設とコラボしてのチャレンジショップ（地元施設と共存共栄できれば・・・） 等	連続立体交差事業を生かしたまちづくりについては、本戦略（案）においても基本目標Ⅲ施策（１）「春日部駅周辺の整備」をはじめ、まちづくりに関する取組を記載しています。具体的な施策については、策定を進めている「春日部市中心市街地まちづくり計画」などの個別計画に基づき、いただいたご意見も参考にしながら、市民との協働で、より効果的な取組を検討してまいります。
・観光資源の魅力向上と情報発信の充実「春日部で第九を歌おう」というイベントに参加していますが、中途半端な気がします。 市のイベントに加えてもらって、入場料を取ってコンサートとするべきでは？	市では、文化・芸術関連の自主的な団体活動を活性化させるため、後援などによる事業支援を通して文化・芸術団体の育成を図っています。いただいたご意見も参考にさせていただき、今後も文化・芸術をはじめとする市の魅力向上につなげてまいります。
・安心安全で魅力ある地域創生戦略 東京への人口集中では災害が大きな問題になるので春日部を安全な町にしてほしい。 地下神殿で水害に弱い春日部から水害に強い春日部になりました。 耐震耐火構造、道の整備、災害時にも停電しない断水しない安全な町を作っていくべきです。	本戦略（案） 31 ページに記載のとおり、台風やゲリラ豪雨等による水害などに対してのインフラ整備を進めるとともに、地域コミュニティへの支援など行政と市民、民間事業者が一体となり、防災対策の充実を図ってまいります。

参考：「第２期春日部市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対する意見の募集期間

令和３年１月４日（月）から令和３年２月２日（火）まで